

ふんわりと

人間

ギャラリー

マチに生きる

人のこころ

夢はケーキ屋さんを開くこと

錦町 宮副 千栄美さん（24歳）



大阪市で生まれ育ち、お兄さんの影響で中学三年生から柔道をはじめ、兵庫県で屈指の強豪校、夙川学院に進学し、県大会でも活躍する実力者だった宮副さん。

三月末に厚真に来て、結婚披露宴の会場を申し込みに福祉センターへ行つたところ、偶然、厚真柔道少年団の指導者と出会い、早くも四月から少年団の指導にあたる。

「にぎやかなところが好きで、指導を引き受けました。子どもたちには、初めは柔道の楽しさを、次に強くなるうという気持ちになつてくれれば」と週二回の稽古を欠かさない。

「厚真は、知らない子どもでもあいさつしてくれるとてもどかな町ですね」と町を気に入ってくれたよう。

普段は、旦那さんの家業の理容

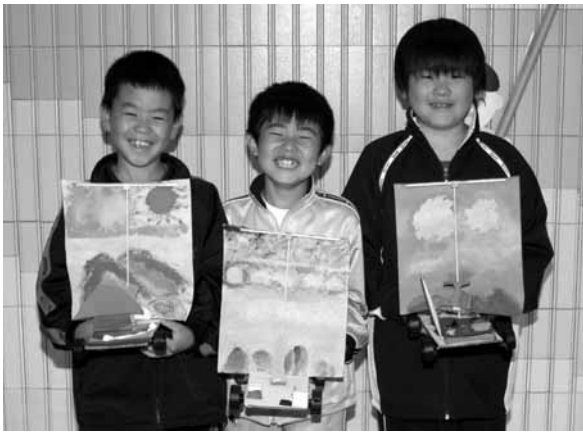
院のお手伝いや主婦業に励む。

お菓子や料理づくりが特技で「夢は、ハスカップや搾りたての牛乳などの特産品を使って、この町にケーキ屋さんを開くこと」

六月二十六日、たくさんの友人・知人に祝福され、結婚披露宴が行なわれた。

「兄弟みたいな夫婦なんですよ」と旦那さんと笑いながら顔を見合せていた。

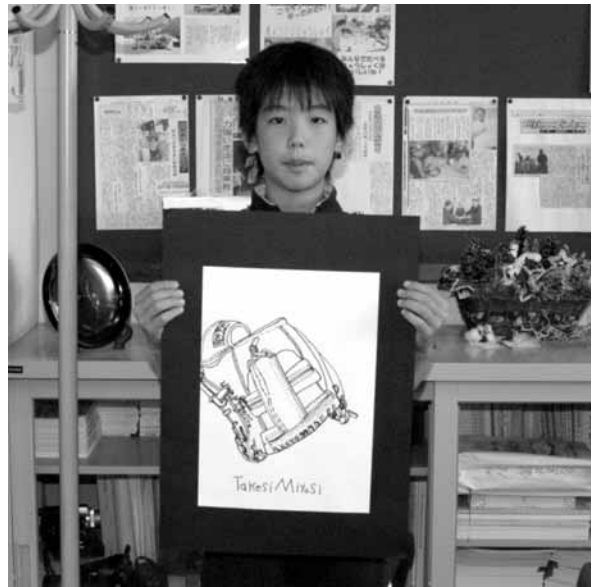
マチの善意



かるまいしょう みぎ
軽舞小 (右から)
 4年 三浦 千茂くん (9)
 「ヘリコプターを作りました。出来るまでは時間がかかったけどすごく上手に出来てうれしい！」
 3年 吉井 侑くん (8)
 「ロケットです。発射したら下に家が出てくるんだよ」
 4年 河村 章弘くん (9)
 「ぼくは山を作りました。ポートや波を立体的に作ったりして楽しかったよ」



ぼくたちの作品



とみのしょう ねん
富野小 6年
 みよし たけし
三好 岳志くん (11)
 「グローブの絵を描きました。下書きをしないで直接描いたけど、思ったよりうまく描けました」

ぼくの・わたしの
 クラス自慢

ともだちっていいな



その49 厚真中央小学校

紹介してくれたのは…

あつ まちゅうおうしょうがっこう ねんせい
厚真中央小学校 6年生
 (書いてくれたのは) しかの あい 藍さん



ちゅうおうしょう ろくねんせい
 中央小の六年生は、男子十五人、女子十四人、合計で二十九人の明るいクラスです。
 休み時間は、外で遊んだり、体育館で遊んだり、教室で遊んだりしています。男子も女子も仲良しです。
 みんなの好きな科目は、家庭科です。なぜかというと、材料を切るのも、あじつけ、もりつけも、レストランのシェフみたいに上手だからです。次回の調理実習は、朝食をテーマにした料理を作ります。今から楽しみです。
 どっちかというと、作るよりも食べるほうが好きかもしれません。六年生の最後には、いま育てている、てんさいをさとうにして、料理を作ることも考えています。これも楽しみです。
 今年で卒業だけど、これからも、楽しくて仲の良いクラスがいいです。